

いわた

文化財だより 第197号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和3年8月2日発行

目次

- 開催中 文化財課夏の企画展
文化財課のお仕事展 P1~2
- かすりの着物で写真撮影&町並散策 P3
- WEBで文化財だよりを楽しもう! P4
- コラム『ラムネの硝子瓶』大村至広 P4

開催中

文化財課夏の企画展

文化財課のお仕事展

— 調査から保存活用まで —

とき **開催中～8月29日(日)** 午前9時～午後6時 **入場無料**
(毎週月曜・27日(金)休館、土日は午後5時まで)
ところ **磐田市立中央図書館 展示室(磐田市見付 3599-5)**

文化財課というとどんなお仕事をしているイメージですか？

発掘調査？古文書？歴史的建造物？もしかして埋蔵金！？

文化財課では遺跡の調査をはじめ、有形・無形の文化財や天然記念物の保護・周知、史跡の維持管理など、貴重な文化遺産、文化財を後世へ伝えるための多様な仕事をおこなっています。

「お仕事」の紹介だけでなく、初展示となる出土品も多くありますので、ぜひご来場ください。



みどころ①修復・復元後初展示！みょうがしま こぶんぐん 国指定重要文化財の明ヶ島古墳群出土土製品

磐田市内で唯一の国の重要文化財である明ヶ島古墳群出土土製品（1064点）を、平成26年度から文化庁の指導に基づき専門業者による修復・復元を進めています。今回、令和元年度・2年度に修復・復元した琴、器（高坏）、糸巻具（機織具）などを公開します。



琴

（左：長さ9.6cm、右：長さ7.8cm）



器

（左：高さ7.7cm、右：高さ6.5cm）



糸巻具

（長さ：9.9cm）

みどころ②発掘現場を再現！発掘調査をわかりやすくご紹介

復元した発掘現場はぜひ会場で！お楽しみに



竪穴住居跡の調査の様子

弥生時代の谷田南遺跡（向笠竹之内）の調査で見つかった竪穴住居跡（一部）を実物大で復元し、発掘現場の様子を立体的に表現します。

発掘現場での仕事の流れ、作業の様子を写した写真パネルも設置し、仕事をわかりやすく紹介します。この他に、近年の調査で出土した遺物もあわせて展示します。

みどころ③指定無形民俗文化財のダイジェスト版を放映！

文化財課では、市内の無形民俗文化財の調査・映像記録をおこなっています。

今回、展示室ではこれまでに作成した記録映像の中から3分程度の映像（ダイジェスト版）を放映しますので、ぜひご覧ください。

（DVDの販売はしておりません。）



民俗文化財をおさめたDVD



展示室では、実際に発掘現場で使用する道具や、発掘現場から持ち帰った遺物の整理や記録作業に使用する道具なども展示しています。ご来場、お待ちしております！

（今年は感染症対策のため講演会を開催しません。）

9月1日から受付開始！ かすりの着物で写真撮影&町並散策

現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎である旧見付学校で、かすりの着物を着用して写真撮影と町並散策をしてみませんか。

旧見付学校内や見付の町並を巡りながら好きな場所で記念撮影をお楽しみください。今年は、見付宿たのしい文化展と同日開催でおこないます。

日時：10月31日（日）

午後1時30分～午後3時30分

会場：旧見付学校

対象：かすりの着物は幼児～小学生着用可

定員：約20名

着物の枚数に限りがありますので、着物の数（サイズ別）に達した時点でべ切とさせていただきます。

申込：①参加者名（ふりがな） ②性別

③学校名 ④学年 ⑤身長 ⑥保護者

の住所・氏名・電話番号を明記し、FAXまたはハガキで旧見付学校までお申し込みください。また、旧見付学校窓口にて直接申し込むこともできます。

参加費：無料

その他：写真撮影、散策同行は保護者の方をお願いします。

感染症の状況によりイベントが中止となる場合があります。



旧見付学校



室内遊びの様子



石盤に文字を書いている様子



<申込・問合せ>

旧見付学校

入館無料

見学時間：午前9時～午後4時30分

休館日：月曜日、祝日の翌日

〒438-0086 磐田市見付 2452

TEL&FAX 0538-32-4511

旧見付学校では、明治時代の教室の再現や教科書、民具なども展示しています。ぜひお越しください。



©磐田市

磐田市ホームページで公開中

WEBで文化財だよりを楽しもう！

パソコンやタブレット、スマートフォンなどから閲覧できます！



情報端末でいわた文化財だよりを楽しんでみませんか。磐田市ホームページでは、最新号のほかバックナンバーも公開しています。バックナンバーの閲覧方法と、これまでに発行した文化財だよりの中から今月のお勧めをご紹介します！

● 閲覧方法 ●

磐田市ホームページトップページ内のページ番号検索に 1007901 を入力後、いわた文化財だよりのバックナンバーの一覧から閲覧したい号数をダブルクリックしてください。

● 今月のお勧め ●

「道祖神」に「^{どうそじん}庚申」、「^{こうしん}役行者」。日本には民衆の間で生まれ育った神仏があります。磐田市にあるこうした『民間信仰』を紹介したシリーズをお勧めします。第111（水の神）、113（道祖神）、114（馬頭観音）、116（庚申）、118（火の神）、119（役行者）号の全6回です。ぜひ、お読みください。



職員リレーコラム

がらすびん ラムネの硝子瓶

大村 至広

花火の縁日などで氷の入った水槽から冷えたラムネを取り出す。ビー玉をポンと押すと炭酸が噴き出す。栓をしばし押さえていないとどんどん泡が噴き出してくる。泡が収まった後、傾けて飲む。が、凹凸にビー玉をあてて留めておかないとふさいでしまって飲めなくなる。

飲み終わったビンの中にビー玉が残る。逆さまにしてもビンの口の方が小さいので出てこない。何とかして取り出したいと思ったのは自分だけではないだろう。小学校低学年ぐらいだったので、昭和の終わりに近い頃かと記憶している。

しばらくして、ビンはガラスだが、口はプラスチックのものが登場、回して外せばビー玉が取り出せるようになった。今では容器は全てプラスチックの方が主流だろうか。

手には入るが喜んだのは最初だけ。簡単に手に入る分、貴重でもなくなってしまった。勝手なものである。今思えば、宝物は宝箱に入っていてこそ貴重だったのだ。

発掘現場や工事現場で割れたラムネビンの破片を見かけると、夏の一コマがふと思い出される。



編集後記 かすりの着物で写真撮影&町並散策を開催します！旧見付学校の校内はもちろんのこと、かすりの着物を着たまま見付の町並散策もできますのでぜひご参加ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)

